

令和6年度 八王子市立石川中学校 学校経営報告書 (学校長 沼本 邦広)

学校の教育目標	
「徳」心を広くもつ 「知」よく考え勉強する 「体」からだをきたえる	
目指す学校像	
①自他を尊重し、安全で楽しく、笑顔のあふれる学校 ②自ら学ぶ意欲を持ち、確かな学力が定着できる学校 ③家庭、地域と連携し、信頼され、開かれた学校	

八王子市立学校における共通した領域 <短期的な経営目標>						
1 (徳) 心を広くもつ		2 (知) よく考え勉強する		3 (体) からだをきたえる		
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	① 「話を聴く」「聴きあえる集団」	B	① 石川中授業スタンダードの確立	B	① 体育大会・合唱コンクール等	A
	② 週1回の学校いじめ対策委員会	A	② 授業改善を目標とした研究授業	B	② 健康・安全教育の充実	B
	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価
	① よりよい学校生活を送っている86.4%	B	① 授業に意欲的に取り組んでいる85.0%	B	① 行事に意欲的に取り組んでいる85.0%	B
② いじめ解消100%	A	② 授業は工夫されている85.9%	B	③ 安心・安全に過ごせている93.0%	A	
学校運営協議会評価	<ul style="list-style-type: none"> ・「あいさつ運動」での生徒会の取り組みを評価する。 ・いじめの兆しを見逃さずに教師が連携して素早く対応する体制が取れていることや解決が難しいケースでも経過を見守り続けていることは評価できる。 ・学校いじめ対策委員会の週一回の開催を今後も進めてほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業・協議会に学校運営委員会が参加できる体制があり、とても良い。 ・教科を問わず、教師の授業の進め方に共通した方向性が見られる。全生徒が何らかの形で授業に参加するように工夫されている。 ・持続可能な校内研修体制を構築してほしい。 ・生徒たちの授業の様子が楽しそう。 		<ul style="list-style-type: none"> ・清掃活動はよくやっている。安全点検は毎月1回実施するべきである。 ・毎月避難訓練が実施されており、救命救急の学習のチャンスがある。 ・水泳の授業では、ボランティアを入れるなど地域関係者と連携してほしい。 ・全体的に校舎内はきれいである。校内に汚れたままに放置されている場所はない。設備等への市の援助は不可欠。 	

学校の特色を生かした領域 <短期的な経営目標>						
4 オリンピック・パラリンピック教育の推進		5 地域人材等との特別支援教育の推進		6 生涯を見通した「キャリア教育」		
自己評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価	(1) 具体的な取組	評価
	① 通級指導と連携した特別支援教育理解	B	① 放課後の学習教室等による居場所づくり	B	① キャリア・パスポートの作成	A
	② 地域と協働によるボランティア活動の充実	B	② 学習支援員による授業内支援	B		
	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価	(2) 成果(数値目標に対して)	評価
	① 特別支援教育に取り組んでいる63.8%	B	① 学習環境の整備が行われている81.6%	B	① キャリア・パスポートの活用100%	A
② ボランティアマインドの育成(数値なし)	B	② 522名の「学びの保障」100%	A			
学校運営協議会評価	<ul style="list-style-type: none"> ・一部の部活動では、地域でのボランティア活動の実績があるが、そもそもボランティア活動をする場や機会を知る情報提供があるともっと良い。 ・学校全体として、生徒一人一人のボランティア精神の充実が必要。 ・特別な支援が必要でない生徒・保護者に対する特別支援教育理解の推進を望む。 		<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師を招いての授業が行われているが、その他にも石川中独自で取り組む授業があると学校の独自性が出るのでは、検討してもらいたい。 ・地域と協働して「学習支援教室」を充実させてほしい。 ・不登校生徒に対する居場所づくりを一層推進してほしい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・教科や学習目標に限定せず、各自で自由に短期間の達成目標を立てて、自主的に努力・挑戦し、振り返りを記録に残していくことで、自身の成長を確認できるものだと考える。 ・職場体験や職業人の話を聴く会、上級学校等からの講和などが充実している。 ・小学校との連携、充実強化を期待する。 	

人材育成・組織運営	
自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・チームによるOJTの活性化を、来年度は経営支援部の仕事に盛り込み、計画的に実践していく。 ・主幹教諭の管理職としての資質向上(毎朝の主幹会や喫緊課題の解決を通して)は図れた。 ・適材適所の配置により、意欲と達成感をもたせ、教諭・主任教諭の学校運営意識の向上を図り、昇任への意欲の向上を図れた。 ・支援・応援・指導し、全教職員の職務内容や教育実践を実現させ、生徒のために自立した教職員へ育成することができた。 ・ミニ研究Daysや校内研修の充実による授業力に関する研修を実施することができた。
学校運営協議会評価	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の人間関係が良好であることは、悩みや課題を一人で抱え込んで疲弊することを防止するだけでなく、相互に支援協力し合える安心感が生まれ、授業や学級運営のためにより良いアイデアを生み出すことのできる職場環境を作り出していくと思う。現在石川中は概ねそのような状態を保たれていると感じる。 ・評価します。このままの持続を望みます。 ・教室に入れない生徒向けの登校支援教室の取り組みを高く評価する。来年度に向けて、今年度以上の開設日設定を期待する。また、不登校の対応等について、今後も教職員と学校運営協議会を対象として研修会を実施してほしい。

中期的な経営目標の達成状況	
生徒の居場所づくりの取り組みは、成果を上げつつある。 不登校や登校渋りの生徒への対応は、地域や関係機関と連携しながらしているものの、今後も解決すべき課題である。	
次年度の重点課題	
生徒の在籍数は命の数という最重要課題に沿い、コミュニティスクール校としての取り組みを充実させ、地域関係者との連携を活性化し、石川中に在籍する生徒を「一人も置いていかない教育活動」を実践していく。	